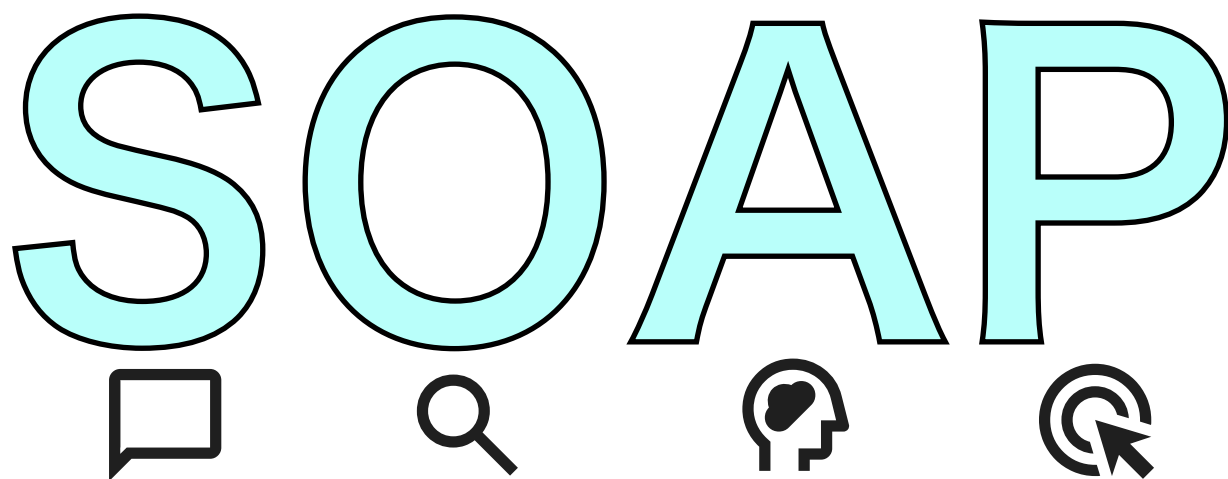


歯科衛生士教育を加速させる SOAP業務記録の利用

—報告力と臨床力を高める—

SOAP業務記録フォーマット付き



歯科医院・クリニックの経営参謀

MECE プロデュース®

はじめに

歯科医院の日常には、多くの共通する課題があります。

その一つが「報告の質」です。

歯科衛生士の報告が長く要点が見えない、必要な情報が抜け落ちている、あるいは言葉にせず黙って立っているだけ、という場面を散見します。報告が断片的で、曖昧にであり、臨床判断へとつながらないケースが目立ちます。

さらに、記録は残っていても中身は“作業日誌”に近く、振り返りや症例検討に役立たないことが少なくありません。

その結果、歯科衛生士自身の学びも深まらず、医院全体の診療の質の向上機会を逃してしまいます。

これは多くの歯科衛生士が「どう伝えれば良いか」という方法を学ぶ機会を持たずにいるということです。整理の枠組みがないために報告が曖昧になってしまうのです。

SOAP式業務記録は、そんな状況を変える有効な手段です。

主観（S）・客観（O）・評価（A）・計画（P）という流れに沿って考えることで、報告は簡潔かつ的確になります。

記録は単なる作業から教育の手段へと変わり、歯科衛生士の臨床思考を磨く一。

SOAPは、医院に“育つ仕組み”をもたらすツールなのです。

株式会社MECEプロデュース 執行役員
日本歯周病学会認定歯科衛生士

三井悠香

目次

SOAPとは何か	．．．4
報告力が育つ理由	．．．5
臨床力が育つ理由	．．．6
記入例と報告例	．．．7
初診時	．．．8
歯周基本治療時（SC）	．．．9
再評価時	．．．10
メンテナンス時	．．．11
巻末：SOAP業務記録フォーマット	

SOAPとは何か

報告がうまくいかないのは、歯科衛生士能力不足ではなく“整理の枠組み”がないからです。SOAPはその迷いを解消するシンプルで強力なフレームワークです。患者から得られる情報や臨床所見を体系的に整理し、誰が見ても分かりやすい形にまとめることを目的としています。歯科医院においても、診療の質やチームでの情報共有を高める手段として活用することができます。



さらにSOAPは単なる記録方法ではなく、情報を論理的に組み立て、臨床的思考を習慣化させるための仕組みです。歯科衛生士にとっては「何をどう伝えればよいか」が明確になり、報告の質を統一できる点が大きなメリットです。

報告力が育つ理由

報告力は能力や経験ではなく、正しい順序と整理の習慣で育ちます。
SOAPを用いれば、誰でも短時間で要点を押さえた報告ができ、聞き手も安心して判断を下せるようになります。

01

報告の順序が明確になる

SOAPは「主観 → 客観 → 評価 → 計画」という流れが決まっているため、話の順序が整理されます。聞き手である院長やチームが状況をすぐに理解でき、無駄なやりとりが減ります。

02

必要な情報が漏れず、不要な情報が減る

「主訴」と「所見」を区別して伝える習慣がつくことで、報告が具体的かつ正確になります。逆に関係のない話や感覚的な説明が減り、要点を押さえた報告が可能になります。

03

報告の質が標準化される

SOAPを医院全体で導入することでスタッフごとの差がなくなり、報告の質が均一化されます。院長は誰から報告を受けても同じ基準で判断でき、指導の効率が大幅に向上します。

04

論理的に伝える習慣が身に付く

S・O・A・Pの流れに沿った報告を繰り返すことで、自然に「考えて順序立てて話す」スキルを習得できます。報告力はもちろん、コミュニケーション全般の質も底上げされます。



臨床力が育つ理由

SOAPは報告の枠組みであると同時に、臨床思考を磨くトレーニングでもあります。日々の記録が「振り返り」と「症例検討」の材料となり、ただの事務作業が学びの時間へと変わります。

01

主訴(S)と所見(O)を結びつけて考える習慣がつく

患者が感じている「しみる」「腫れている」といった訴えと、プロービング値やプラーク付着などの客観的所見を結びつけて考える力が育ちます。臨床判断に直結する視点を養うことができます。

02

問題を整理し(A)次の一手(P)を考える力が鍛えられる

情報を整理して問題点を特定し、そのうえで治療や指導計画を立てるプロセスを繰り返すことで、診療全体を見通す力が磨かれます。単なる“作業”ではなく、“考えて動く”習慣が身につきます。

03

書き残すことで自己学習の材料になり症例検討にも活用できる

SOAP記録は歯科衛生士自身の振り返り教材となります。さらに院内カンファレンスや症例共有に利用することで、個人の学びが医院全体の臨床力向上へと広がります。

04

記録が「事務作業」から「臨床トレーニング」へと変わる

形式的な記録が、臨床思考を鍛えるトレーニングへと変わります。毎日の診療がそのまま教育の場となり、経験年数に依存しない学びの加速が可能になります。



記入例と報告例


次ページよりSOAPを用いた業務記録の

「記入例」と、それをもとにした「報告例」を示します。

実施日	2022/1/1	治療ステージ	初診・歯周基本治療・再評価・メンテナンス（H）
主訴（S）	<div>記入例</div> <p>1人の患者を初診から歯周基本治療、再評価そしてSPTに至るまで、時系列でSOAPを追う形を示しています。各段階で何を書けばよいか、どのように変化を捉えるのかが具体的に分かるよう構成してあります。</p>		

報告例

SOAPで記録した内容を口頭で院長やチームに伝える際の見本を示しています。業務記録を上から順に話すことで、必要な情報を短時間で正確に伝えられるようにしました。



歯科衛生士業務記録

カルテNo.: 0001

患者氏名: T.M

性別: 男 **女**

年齢: 45

初診年月日: 2026/ 1/5

初診時主訴: 歯ぐきが腫れて出血する、口臭も気になる

既往歴:

喫煙:

本/日

実施日: 2026/ 1/5

治療ステージ: **初診**・歯周基本治療・再評価・メンテナンス

DH:

主訴 (S): 歯ぐきが腫れて出血する、口臭も気になる

臨床所見(O): PPD4~5mmを多数認める (検査結果別紙参照)

プラーク	歯石	出血	動揺
評価 (A):	全顎的な歯周炎 (軽度~中等度)、PC不良		
計画 (P):	全顎に対するTBIとSRPまでを想定した歯周基本治療		
SC	Poli	SRP	TBI/OHI
			染め出し後 スクラビング法指導

初診です。

(S)歯ぐきが腫れて出血することと口臭が気になるそうです。

(O)全顎的にプラークが付着し出血も認められます。

4~5mmのポケットを多数有し、

好発部位には歯石も沈着していることから

(A)全顎的な歯周炎とプラークコントロール不良が考えられます。

(P)全顎に対するTBIとSRPまでを想定した

歯周基本治療が必要と考えます。

本日は染め出しをしてTBIを行いました。



歯科衛生士業務記録

カルテNo.: 0001

患者氏名: T.M

性別: 男 女

年齢: 45

初診年月日: 2026/ 1/5

初診時主訴: 歯ぐきが腫れて出血する、口臭も気になる

既往歴:

喫煙:

本/日

実施日: 2026/1/15

治療ステージ: 初診 歯周基本治療・再評価・メンテナンス

DH: 三井

主訴 (S): 出血が減った気がする

臨床所見(O): 全顎的に歯肉発赤・腫脹軽減

プラーク	歯石	出血	動揺
隣接面に付着	<div><div>66</div><div>33</div></div>		
評価 (A):	TBIの効果が現れ歯肉炎症状は改善傾向にある		
計画 (P):	セルフケアが奏功しているためモチベーションを維持した上で順次SC		
SC	Poli	SRP	TBI/OHI
<div><div></div><div>77</div></div>	<div><div></div><div>77</div></div>		

歯周基本治療を開始しました。

(S)前回のTBIを受けて出血が減った気がするそうです。

(O)全顎的に歯肉の発赤・腫脹は軽減しましたが、
隣接面へのプラークの付着を認めます。

(A)TBIの効果が現れ歯肉炎症状は改善傾向にあるため

(P)モチベーションを維持した上で順次SC、SRPを進めていきます。

本日は下顎のSCとPoliを行いました。



歯科衛生士業務記録

カルテNo.: 0001

患者氏名: T.M

性別: 男 女

年齢: 45

初診年月日: 2026/ 1/5

初診時主訴: 歯ぐきが腫れて出血する、口臭も気になる

既往歴:

喫煙:

本/日

実施日: 2026/ 3/5

治療ステージ: 初診・歯周基本治療・再評価・メンテナンス

DH: 三井

主訴 (S): 前よりも歯ぐきが引き締まった感じがする

臨床所見(O): #46#47で5mm→3mmに改善 (検査結果別紙参照)

プラーク	歯石	出血	動揺
20%		8.6%	

評価 (A): SRPの効果により炎症は改善しPPD減少、患者のセルフケア意識も高い

計画 (P): 病状安定が確認できたのでSPTへの移行を検討

SC	Poli	SRP	TBI/OHI
	<div>7+7</div> <div>7+7</div>		

SRP後の再評価です。

(S)前よりも歯ぐきが引き締まった感じがするそうです。

(O)#46#47でポケットが3mmに改善し、

PCR20%、BOP8.6%でした。

(A)SRPの効果により炎症は改善し

患者のセルフケアへの意識も高いです。

(P)病状安定が確認できたのでSPTへの移行を相談したいです。

本日は歯周組織検査をした上で全顎のPoliを行いました。



歯科衛生士業務記録

カルテNo. : 0001

患者氏名 : T.M

性別 : 男 女

年齢 : 45

初診年月日 : 2026/ 1/5

初診時主訴 : 歯ぐきが腫れて出血する、口臭も気になる

既往歴 :

喫煙 :

本/日

実施日 : 2026/6/5

治療ステージ : 初診・歯周基本治療・再評価 メンテナンス DH : 三井

主訴 (S) : 特に気になる症状はない

臨床所見(O) : PPD3~4mm、深いポケットは消失 (検査結果別紙参照)

プラーク	歯石	出血	動揺
15.2%	<div><div></div><div>3+3 (縁上)</div></div>	7.6%	

評価 (A) : SRP後の改善が維持されており歯周組織は安定

計画 (P) : 全顎PMTCを実施し、セルフケアでは届きにくい部位を補完

SC	Poli	SRP	TBI/OHI
<div><div>7+7</div><div>7+7</div></div>	<div><div>7+7</div><div>7+7</div></div>		

再評価から3ヶ月後の受診です。

(S)気になる症状はなく (O)歯周組織は安定していますが、
下顎前歯部に縁上歯石がついています。

(A)SRP後の改善が維持されていることが考えられるので

(P)セルフケアでは不十分な部位を補完していきます。

本日は全額のSCとPoliを行いました。



おわりに

診療の質や教育の水準を高めるためには、特別な設備や大がかりな仕組みが必要なわけではありません。必要なのは日々の業務の中に小さな「考えるきっかけ」を埋め込むこと。

SOAP式業務記録は、そのためのシンプルかつ強力なフレームワークです。
情報を整理し、報告を標準化し、臨床思考を育てる一。
その積み重ねがスタッフを育て、医院全体の臨床力を底上げしていきます。

歯科衛生士自身は「記録する」ことを通じて自ら学び、症例検討やケース共有に活かすことができます。日々の業務がそのまま教育の場となり、臨床力を高めるトレーニングへと変わります。

医院にとってSOAPの導入は、「報告・記録を効率化するツール」であると同時に、「人を育て、医院の未来を強くする仕組み」でもあります。

ぜひ本資料をきっかけに、SOAP式業務記録を医院の文化として根づかせ、診療と教育の質をさらに高めていくことを願っています。

歯科衛生士業務記録

カルテNo. :患者氏名 :性別 : 男・女年齢 :

初診年月日 : / /初診時主訴:

既往歴:喫煙:本/日

実施日 : / /治療ステージ: 初診・歯周基本治療・再評価・メンテナンスDH:

主訴 (S):

臨床所見(O):

プラーク	歯石	出血	動揺

評価 (A):

計画 (P):

SC	Poli	SRP	TBI/OHI

実施日 : / /治療ステージ: 初診・歯周基本治療・再評価・メンテナンスDH:

主訴 (S):

臨床所見(O):

プラーク	歯石	出血	動揺

評価 (A):

計画 (P):

SC	Poli	SRP	TBI/OHI

会社概要

会社名	株式会社MECEプロデュース（ミーシープロデュース）
本社所在地	〒160-0022 東京都新宿区新宿2-12-13 新宿アントレサロンビル2階
設立	2020年8月3日（2019年2月1日 個人事業主として事業開始）
代表者	代表取締役CEO 河島 康一 取締役COO 磯野 寧子 社外取締役 前池 綾乃 社外取締役 宮本 貴文
事業内容	<ul style="list-style-type: none">・医療機関を対象としたコンサルティング事業・医療機関を対象とした経営実務サポート事業・セミナー、イベント、講演会及び講演会等の企画、運営、管理及び実施・人材育成のための教育、研修及び指導・各種商品の企画、製造、販売および通信販売業・オンラインサロン運営事業・書籍その他印刷物及び電子出版物の企画、編集、制作、出版並びに販売・ウェブサイト、ウェブコンテンツ、その他インターネットを利用した各種サービス等の企画、制作、販売、配信、運営及び管理



※無断転載・無断複製については著作権侵害として厳正に対処いたします